



今月の内容



思いを込めたタッチで手紙をつづる

書家の紫舟さん指導の下、大切な人に書で手紙をつづる「シユウLove Letter Project 都城編」を6月28日、五十市小学校で開催しました。自分の思いに合う字を見つけ、思いが伝わる書のタッチを生み出して手紙にしたための本プログラムに、同校6年生113人が参加。長倉由依さんは「初めて筆で手紙を書き、きれいに書かなければいけないと思っていたが、自分のオリジナルのタッチで書くことができた。大切な人に思いが伝わるとうれし」と目を輝かせていました。



200回目の「こけない体操」

乙房地区で「こけないからだづくり講座」が200回目の節目を迎え、記念セレモニーが7月9日、乙房こども園で開催されました。昭和を楽しも会や乙房こども園の園児が歌などを披露した後、参加者全員で食事会を行い、会場は和やかな笑顔に包まれました。乙房自治公民館の福田館長は「継続することが、こけないからだづくりにつながる。今後も続けていきましょう」と呼び掛けました。乙房地区では、今後、上級編のこけない体操にも取り組んでいきます。

02 まちの話題

04 **特集** 令和元年度予算
重要施策の推進！

08 都城フィロソフィを策定しました

12 都城市ふるさと納税

14 都城で学ぼう！（学生募集）

16 人の風景

18 他人ごとではない空き家の話

20 幼児教育と保育の無償化が始まります

21 子どもの健康のための予防接種/
お母さんをサポートする母子保健推進員

22 INFORMATION（市からのお知らせ）

26 ミニミニニュース

27 がん検診を受けよう！／今月のお便り

28 みやこんじょ盛り上げ隊！/
今月のプレゼント

29 国際交流員のひとりごと/
美術館情報／学校へ行こう！

30 図書館だより／歴史探訪／伝承館だより

31 NPO通信／安全・安心情報/
番組紹介／現住人口／編集後記

※今月の「楽うまレシピ」は、休載します

取材で出会った笑顔

参院選の投票立会人を務めました

7月21日に執行された参議院議員選挙で、高木自治公民館の投票立会人を務めました。初めて選挙権を得た今回の選挙。政治や選挙への関心を高め、今問題となっているさまざまな課題を勉強し、自分たちの将来を、しっかりと考えていきたいと思います。



にれだ 榎田 理梨香さん
(高城高校普通科3年)

今月の表紙

熱気に包まれた都城の夏

7月9日、都城の夏を彩るおかげ祭りの本祭りが開催されました。都城駅前で行われた後、神柱宮に向けてみこしの巡行。元気に踊る跳人や色鮮やかな灯籠山車、勇壮に練り歩くみこしを一目見ようと、市内外から多くの見物客が詰め掛けました。





**田んぼで繰り広げられた
泥だらけの熱い戦い**

高崎町どろんこバレーボール祭が6月23日、高崎小学校南側田んぼで開催されました。市内外から46チーム308人が参加。参加者らは、チームごとに思い思いのユニホームを身にまとい、泥だらけになりながら夢中でボールを追いかけていました。



**郷土への理解と
愛着を深める**

語り部の竹原由紀子さんによる小中学校アウトリーチ事業「都城の民話の語り部」が6月21日、西岳小学校で開催されました。小・中学生のほか、特別養護老人ホーム入所者など、世代を超えた100人が鑑賞。「きりしま山の山女」など都城に伝わる民話や昔話に、真剣に耳を傾けていました。



**結婚や出産を祝う
素敵なプレゼント**

本市に婚姻届や出生届を提出した人へ、オリジナルのデザインが施された専用用紙に届書をコピーして贈呈するサービスが、7月1日から始まりました。1日に出生届を提出した陣之内忍さん(久保原町)は「第1子誕生の記念に、額に入れて飾りたい」と顔をほころばせていました。



**親子で楽しむ
ニュースポーツ！**

霧島ぼんちニュースポーツ体験会が6月29日、Mallmall内のまちなか広場で開催されました。スポーツ実施率の低い子育て世代などに、トランポリンや輪投げなどを通して、親子で一緒にスポーツを楽しんでもらう本イベント。同広場は、親子らの笑顔でいっぱいになりました。



**千日通りを彩る
オリジナル風鈴**

千日七夕まつりが7月7日、上町の千日通りかんで開催されました。千日通りの名物だった催しを、空き店舗活用を図る(株)みやこんじょやもい舎が再企画した同イベント。都城高専生の協力の下、風鈴の絵付けワークショップやお化け屋敷、通りの店舗による飲食販売などにぎわいました。



**きれいな環境を
みんなで作ろう！**

「都城市環境美化の日」絵画コンクールの表彰式を7月2日、市長室で行いました。子どもらの環境美化に対する意識向上を目的に、市内の小学5・6年生を対象に開催する本コンクール。受賞者らは、ごみのポイ捨てなどの環境問題をテーマに、環境美化への思いを作品に込めていました。